

大学院 福祉健康科学 研究科

Graduate School of Welfare and Health Sciences

【修士課程・1専攻3コース】

【入学定員／20名】

福祉健康科学研究科福祉健康科学専攻(修士課程)は、
医療・福祉・心理の3領域の結節を進めるとともに、
「より高度な支援の実践力」と
「科学的・論理的思考に基づいた研究力」を身につけ、
地域共生社会の実現を担うことのできるパイオニアを養成します。

健康医科学コース(募集人員5名程度)

医科学や理学療法学等の専門性を論理的に立証し、健康医科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる臨床・行政のリーダーや教育者、研究者を養成します。

学位:修士(健康医科学)【Master of Health and Medical Sciences】

福祉社会科学コース(募集人員5名程度)

福祉社会の構築に向けた制度・政策の立案、また相談支援や臨床福祉における実践活動の専門性を論理的に立証し、福祉社会科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができるリーダーや、専門的な教育研究に従事する人材を養成します。

学位:修士(福祉社会科学)【Master of Social Service Administration】

臨床心理学コース(募集人員10名程度)

心の健康や心理学的支援に関する高度な専門性を有し、心理学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる心理専門職を養成します。

学位:修士(心理学)【Master of Psychology】

※公認心理師・臨床心理士の受験資格の取得が可能(予定)

大分大学大学院福祉健康科学研究科

Graduate School of Welfare and Health Sciences

教育の特徴(専任教員:65名)

3コース合同で相互の学び合いや多領域を関係づけた学びを進め、「地域共生社会」に関する理解と支援の基盤を確実に養うとともに、各コースの詳細な学びを組み合わせることで、「地域共生社会」に関する学びの厚みを増す。

本研究科では「地域共生社会」を以下のような社会ととらえています。

「多様な問題・困りを抱えるすべての人が、問題・困りの性質や年齢・世代にかかわらず、医療・福祉・心理の結節に基づく専門的な支援をうけるとともに、そうした問題・困りを抱える人を含めたすべての人が地域社会の中で互いにつながり、存在価値を認めあうコミュニティをつくり出していく社会」

健康医科学コース

福祉社会科学コース

臨床心理学コース

「実践力の養成」

基礎科目

3コース合同で「福祉健康科学」や「地域共生社会」の概念、及び医療・福祉・心理の各領域における「地域共生社会」の実現について考えを深める。
「福祉健康科学特論Ⅰ・Ⅱ」等

発展科目

医療・福祉・心理の各領域に関してより詳しい内容を学ぶ科目を置く。医療・福祉・心理の各領域における支援実施と研究に関するより詳細かつ高度な知識・技術・論理的思考力等を身につける

医療関連科目群

福祉関連科目群

心理関連科目群

「研究力の養成」

研究展開科目：福祉健康科学特別演習Ⅰ・Ⅱ

3コース合同で研究テーマの探索やディスカッション等を進める

研究展開科目：福祉健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ

所属するコースのゼミを中心に行うが、研究テーマに応じて他コースの教員を副指導教員とすることで、領域横断的な研究を進めることができる

健康医科学コース
ゼミ

福祉社会科学コース
ゼミ

臨床心理学コース
ゼミ

修士(健康医科学)

修士(福祉社会科学)

修士(心理学)

お問い合わせ先

福祉健康科学研究科に関すること

福祉健康科学部総務係
TEL 097-554-7502 (FAX 097-554-6124)
E-mail: fukusisomu@oita-u.ac.jp

入試に関すること

学生支援部入試課
TEL 097-554-6701 (FAX 097-554-7472)
E-mail: nyukikak@oita-u.ac.jp



大分大学福祉健康科学部
ホームページ